

| | | | | | |
|-------|------------------------------------|-------|---|------|------|
| 市町村等名 | パシフィックコンサル タツ株式会社 (愛知江南短期大学) | テーマ区分 | ③非構造部材の 耐震点検 ⑤ソフト・ハード一 体となった学校防災 | 事業年度 | 27年度 |
|-------|------------------------------------|-------|---|------|------|

地域に広がる！子供・子育て支援拠点大学としての防災機能強化プロジェクト

◆事業の背景及び目的

- 南海トラフ等の大規模地震発生時に、自力で身を守り生き抜くことが難しい世代（特に乳幼児）に対応できる社会システムが速やかに構築されることを目指す。
- そのため、大学に設置された大規模災害時に乳幼児の受入れを行う避難所（こーたん避難所）が、日頃から地域とかかわり、いざというとき機能する防災拠点となることを目指す【目的①】とともに、学校施設が常に安全な状態を維持することができるような、人材育成ツールの開発を行う【目的②】。

◆主な取組内容

- 10月 子供防災関連主体間の情報伝達ルールの検討【目的①】
・こーたん避難所（二次避難所）と一時避難所である小中学校が、発災時に各自の状況について共有できるよう検討
- 11月 こーたん避難所の安全対策・通信手段の検討【目的①】
・災害時にも平時にも活用できる市販の見守りカメラ等を活用した低コストの手段を検討
- 12月 地域一大学間の避難ルートの検討及び安全点検【目的①】
・乳幼児を連れた保護者が災害時に一時避難所からこーたん避難所までの安全に避難を可能なルートを検討
- 12月～1月 訓練プログラムの検討と検証【目的①】
・こーたん避難所に整備した防災用資機材の活用を織り込んだプログラムを作成し、その有効性について検証するため訓練を実施。地域の乳幼児親子など40人以上が参加した。
- 7月～2月 地域の耐震対策の現状や課題の整理。改善策の検討【目的②】
・地域の学校施設等の耐震対策の現状や課題、「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(改訂版)」(文部科学省)を基に、学校教職員を対象とした非構造部材の日常点検・対策DVDを作成した。



避難ルートマップの作成
一時避難所に指定されている小学校からこーたん避難所までのルートを検討。実際に避難ルートを歩き、窓ガラスや瓦等落下物の危険性や交通量、道幅等通行の安全性を確認。



避難所の利用・運営方法の検討
市防災安全課と協議し、既存の一時避難所との受入れ対象者の分担と運営ルール、施設の利用計画等について検討



非構造部材の日常点検・対策DVD

動画は以下のURLで公開中
<https://www.youtube.com/watch?v=WE8XVlgPRz4>

◆事業成果

- 地域・子供・学校がつながる仕組みの構築
 - ・地域における協議会活動を繰り返し実施することで防災対策の情報共有の場として定着した。
 - ・こーたん避難所の実際の運営に向けた具体的な仕組みを構築した。
 - ・地域の子供防災の連携体制を構築するための情報伝達手段の検討を行い、共有した。
- 非構造部材の日常点検・対策DVDの作成
 - ・学校教職員でも点検ができるよう点検のポイントや点検結果の判断方法についてわかりやすく解説した動画を作成した。

◆事業終了後の取組

- ・地域の防災連携体制の構築のため引き続き協議会活動を継続。乳幼児おやこを対象とした訓練プログラムを年1回の行事化した。
- ・協議会WEBサイト(<http://www.konan-kodomo-bosai.info/konan/>)を立ち上げ、協議会活動情報を発信。SNS(Twitter)と連動させ、災害掲示板としても機能する仕組みを構築した。
- ・文部科学省HPにて、動画を広く公開し、講習会等を通じて閲覧を促すなど、非構造部材の点検・対策の促進に活用している。